

2021年3月28日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第51号(通算3228号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

神様が創られたすべての命を大切に
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

神の求めるいけにえは砕かれた霊。

神よ、砕かれ悔いる心をあなたは悔りません。(詩編 51:19)



棕櫚の主日 (受難節 第6主日) 礼拝

《新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。インターネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂けます》

前奏 黙祷

招きの詞 ゼカリヤ書

9章 9-10節

賛美歌 21-307番「ダビデの子、ホサナ」(©教団讚美歌改訂委員会)

開会のお祈りと消灯

朗読劇「受難週の物語」(2-6頁をご参照ください)

聖書 マルコ福音書 11:1-11、ヨハネ福音書 13:1-5、

コリント書 I 11:23-26、マルコ福音書 14:26, 32-42、

『讚美歌21』280「馬槽のなかに」(©JASRAC)、305「イエスの担った十字架

は」(©JASRAC)、487「イエス、イエス」(©JASRAC)、72「まごころもて」

(©教団讚美歌委員会)、315「茨の冠 かぶせられ」(©教団出版局)

献げ物(*)

誕生者祝福式(**)

賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1,2,6節)(©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

報告 (8頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

** みんなで3月生まれの方(と今年度2月までにお生まれの方)をお祝いいたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

招きの詞 ゼカリヤ書 9章 9-10節 (聖書協会共同訳 ©日本聖書協会)

⁹娘シオンよ、大いに喜べ。／娘エルサレムよ、喜び叫べ。／あなたの王があなたのところに来る。／彼は正しき者であって、勝利を得る者。／へりくだって、ろばに乗って来る／雌ろばの子、子ろばに乗って。

¹⁰私はエフライムから戦車を／エルサレムから軍馬を絶つ。／戦いの弓は絶たれ／この方は諸国民に平和を告げる。／その支配は海から海へ／大河から地の果てにまで至る。

賛美歌 307番「ダビデの子、ホサナ」

開会のお祈りと、ろうそくの消灯

司式者

神様。私たちは、主イエス・キリストのご生涯の最後の日々を覚えて、レントの最後の週の礼拝を守るために、ここに集まりました。今も、世界は、病気や災害、争いのために大きな苦しみの中にいます。どうかこのレントの日々、イエス様が私たちに大切にされ、私たちのために苦しみを受けられたことを覚えて、この礼拝を守ることができるようにしてください。そしてまた、私たちが今なすべきことを、しっかりと見つめながら、これからの受難週の日々を送ることができるようにしてください。イエス・キリストと共にあって祈ります。アーメン(ろうそくの消灯)

聖書 マルコによる福音書 11章 1-11節a (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山に面したベトファゲとベタニアにさしかかったとき、イエスは二人の弟子を使いに出そうとして、²言われた。「向こうの村へ行きなさい。村に入るとすぐ、まだ誰も乗ったことのない子ろばのつないであるのが見つかる。それをほどいて、連れて来なさい。³もし、誰かが、『なぜ、そんなことをするのか』と言ったら、『主がお入り用なのです。すぐここにお返しになります』と言いなさい。」⁴二人は、出かけて行くと、表通りの戸口に子ろばがつかないであるのを見つけたので、それをほどいた。⁵すると、そこに居合わせた人々が、「その子ろばをほどいてどうするのか」と言った。⁶二人が、イエスの言われたとおり話すと、許してくれた。⁷二人が子ろばをイエスのところに連れて来て、その上に自分の上着を掛けると、イエスはそれにお乗りになった。⁸多くの人が自分の上着を道に敷き、また、ほかの人々は野原から葉の付いた枝を切って来て敷いた。⁹そして、前を行く者も後に従う者も叫んだ。／「ホサナ。／主の名によって来られる方に／祝福があるように。¹⁰我らの父ダビデの来るべき国に／祝福があるように。／いと高き所にホサナ。」¹¹こうして、イエスはエルサレムに着いて、神殿の境内に入られた。

賛美歌 280番「馬槽のなかに」(1-3節)



レントの最後の週、イエス様が十字架につけられた最後の週間に起こった出来事を、思い出してみましょう。

日曜日。 イエス様はお弟子さんたちと一緒に、イスラエルの中心地、エルサレムの町にやって来られました。イエス様は、平和のしるしとして、ロバに乗り、エルサレムの町に入られました。それを見たたくさんの人々が、しゅろの葉を手を持って、それを打ち振りながら、イエス様を喜び迎えました。

月曜日。 イエス様はエルサレムにある神殿にやって来られました。イエス様は、そこで商売をしている人々を見て、「ここはすべての国の人の祈りの家である」と言って、売り買いしている人々を追い出されました。イエス様を嫌っていた人々は、これを聞いて、なおさらひどくイエス様を憎むようになりました。

火曜日。 イエス様はエルサレムの神殿で、たくさんの人々に神様のことを教えました。その時、一人の学者がイエス様にこう尋ねました。「イエス様、一番大切なことは何ですか？」

イエス様はお答えになりました。「一番大切なことは、心を尽くしてあなたの神である主を大切にしてください。また、隣り人を自分のように大切にしてください。」

水曜日。 イエス様はシモンという人の家におられました。その時、一人の女の人がそこにやって来て、ナルドの香油という、とても高価な油をイエス様の頭に注ぎかけました。家の中に、とても良い香りが満ちあふれました。すると、イエス様は、お弟子さんたちに向かって、こうお話になりました。

「この人は前もって、私のお葬式の準備をしてくれたのだ。はっきりしておく。これから後、どこであっても、この女の人のしたことは私の記念として語り伝えられるだろう。」 アーメン。

賛美歌 305番 「イエスの担った十字架は」(1節のみ)

聖書 ヨハネによる福音書 13章 1-5節 (脚注 a: 別訳「引き渡そうとする」)

¹過越祭の前に、イエスは、この世から父のもとへ移るご自分の時が来たことを悟り、世にいるご自分の者たちを愛して、最後まで愛し抜かれた。²夕食のときであった。すでに悪魔は、シモンの子イスカリオテのユダの心に、イエスを裏切ろうとする思いを入れていた。³イエスは、父がすべてをご自分の手に委ねられたこと、また、ご自分が神のもとから来て、神のもとに帰ろうとしていることを悟り、⁴夕食の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手拭いを取って腰に巻かれた。⁵それから、たらいに水を汲んで弟子たちの足を洗い、腰に巻いた手拭いで拭き始められた。

賛美歌 487番「イエス、イエス」(1-3節)

朗読劇「イエス様の洗足」

(ナレーター) 木曜日の夕方。イエス様は、12人の弟子たちと共に食事をするために、エルサレムの町にある家の部屋を借りました。

イエス様は、ご自分の最後の時が近づいていることを知っていました。イエス様は、十字架の死を前にして、弟子たちを集めると、とても大切なことを教えようとされたのです。

イエス様は、まず最初に、弟子の一人、ペトロの手を取って、ご自分の椅子に座らせました。

(イエス) ペトロ、あなたの足を出しなさい。

(ナレーター) イエス様が、ペトロの足を洗おうとすると、ペトロは、「イエス様、あなたが私の足を洗って下さるのですか」と言って、慌てて立ち上がろうとしました。その頃、お客の足を洗ったりすることは、奴隷のする仕事だったからです。

「私の足など、決して洗わないで下さい」というペトロに向かって、イエス様は、もう一度、こうおっしゃいました

(イエス) ペトロ、あなたの足を出しなさい。私のしていることは、今、あなたには分からないが、後で分かるようになる。

(ナレーター) イエス様は、ペトロの足を洗い終わると、こうおっしゃいました。

(イエス) 私がペトロにしたことが分かるか。あなた方は、私を「先生」とか「主」とか呼んでいる。「先生」であり、「主」である私が弟子のあなた方の足を洗うのだから、あなた方もお互いに足を洗い合わなければならない。私がした通りに、あなた方もしなさい。

黙想 「互いに大切にし合いなさい」 黙想者

命令するのは気分がいい。わがままを言うのは気分がいい。聞いてもらえない時には怒りたくなる。

けれども、イエス様。あなたは教えます。「互いに大切にし合いなさい」

友達のたくさんいる人は、一人の人を迎え入れなさい。笑顔でいられる人は、慰めなさい。豊かに祈れる人は、兄弟姉妹のために祈りなさい。話の上手な人は、口をきく勇気のない人を守ってあげなさい。

足を洗ってあげるより、洗ってもらう方が気分がいい。食事の支度をしてあげるより、してもらう方が気分がいい。思い通りにならない時には怒りたくなる。

けれども、イエス様。あなたは教えます。「あなた方の中で偉くなりたい者は、皆に仕える者となりなさい。一番上になりたい者は、全ての人の僕になりなさい。私は仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人のために私の命をささげるために来たのである。」

イエス・キリスト。私たちの「先生」。十字架につけられるその前の夜、あなたは教えます。「互いに大切にし合いなさい」。アーメン。

賛美歌 305番「イエスの担った十字架は」(1節のみ)

聖書 コリントの信徒への手紙 I 11章 23-26節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

23 私があなたがたに伝えたことは、私自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、24 感謝の祈りを献げてそれを裂き、言われました。「これは、あなたがたのための私の体である。私の記念としてこのように行いなさい。」25 食事の後、杯も同じようにして言われました。「この杯は、私の血による新しい契約である。飲む度に、私の記念としてこれを行いなさい。」26 だから、あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲む度に、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。

賛美歌 72番「まごころもて」(2-3節のみ)

ドラマチックリーディング 朗読劇「最後の晩餐」

(ナレーター) イエス様が、12人の弟子たちと一緒に食事を始めようとしていた時のことです。イエス様は立ち上がって、パンを取りました。そして、賛美の祈りを唱え、それを裂きました。

(イエス) これは私の体です。取って、食べなさい。

(ナレーター) その後、杯を取って、同じようにして言われました。

(イエス) これは、多くの人のために流される私の血、契約の血です。取って飲みなさい。

黙想 「キリストの命を受けて」 黙想者

どんなに私が弱くても、どんなに私が自分勝手でも、どんなに私が愚かでも、私のために、あなたはパンを分けて下さる。

どれほどこの世が暗くとも、どれほどこの世が混乱していても、どれほどこの世に悪の力が満ちていても、この世界のために、あなたは杯を支えておられる。

イエス・キリスト。あなたの言葉を、あなたの心を、あなたの赦しを、あなたの祈りを、私たちの中に蒔いて下さい。

イエス・キリスト。あなたの光を、あなたの奉仕を、あなたの勇気を、あなたの喜びを、この世界の中に育てて下さい。

あなたのパンとあなたの杯、あなたの命に生かされて、生きる者として下さい。アーメン。

賛美歌 305番「イエスの担った十字架は」(1節のみ)

聖書 マルコによる福音書14章 26, 32-42節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

26 一同は賛美の歌を歌ってから、オリーブ山へ出かけた。

32 一同がゲツセマネという所に来ると、イエスは弟子たちに、「私が祈っている間、ここに座っていなさい」と言われた。33そして、ペトロ、ヤコブ、ヨハネを伴われたが、イエスはひどく苦しみ悩み始め、34彼らに言われた。「私は死ぬほど**苦しい**。ここを離れず、目を覚ましていなさい。」35少し先に進んで地にひれ伏し、できることなら、この時を過ぎ去らせてくださるようにと祈り、36こう言われた。「アッバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯を私から取りのけてください。しかし、私の望みではなく、御心のままに。」37それから、戻って御覧になると、弟子たちが眠っていたので、ペトロに言われた。「シモン、眠っているのか。一時も目を覚ましていられなかったのか。38誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心ははやっても、肉体は弱い。」39さらに、向こうへ行って、同じ言葉で祈られた。40再び戻って御覧になると、弟子たちは眠っていた。まぶたが重くなっていたのである。彼らは、イエスにどう言えばよいのか、分からなかった。41イエスは三度目に戻って来て言われた。「まだ眠っているのか。休んでいるのか。もうよかろう。時が来た。人の子は罪人たちの手に渡される。42立て、行こう。見よ、私を裏切る者が近づいて来た。」 (脚注b:別訳「悲しい」)

賛美歌 315番「茨の冠 かぶせられ」

思い巡らし「十字架と死」

朗読者

木曜日の晩。 食事を終えたイエス様と弟子たちは、エルサレムの町の近くにあるオリーブ山という小さな山に登り、ゲツセマネという所にやって来られました。イエス様が祈っておられた時、イエス様を裏切った弟子のユダが、大勢の人々と一緒に、イエス様を捕らえるためにやって来ました。弟子たちは皆、イエス様を見捨てて、逃げ出してしまいました。そして、イエス様は捕らえられ、その晩遅くに、裁判にかけられました。

金曜日。 ローマ総督ポンテオ・ピラトは、イエス様を死刑に決めました。ローマの兵隊は、イエス様を殴り、つばを吐きかけ、茨の冠を頭にかぶせました。ゴルゴタの丘という所で、イエス様は十字架に架けられました。

お昼の12時に、空は真っ暗になりました。そして3時頃、イエス様は息を引き取られました。イエス様の体は、十字架から取り降ろされ、お墓の中に納められました。イエス様はこの時30歳くらいだったと言われています。

土曜日。 この日、イエス様の体は、一日中、暗いお墓の中に横たえられていました。イエス様は、死にました。レントの最後の週、受難週の日一日は、このようにして過ぎていきました。 アーメン。

賛美歌 305番「イエスの担った十字架は」(1節のみ)

(参照:「しゅろの主日とともに」『礼拝と音楽』臨時増刊2001年,34-41頁)

《先週のメッセージより》3月21日 レント（受難節）第5主日礼拝

メッセージ「私たちの望むものは」より

水谷憲牧師

聖書：マタイによる福音書 20章20-28節

本日の聖書に登場するのは、ゼベダイの息子たちの母。イエスが自分の死と復活を3度目に予告した際、彼女は「私の2人の息子が、あなたの御国で、一人はあなたの右に、一人は左に座れるとおっしゃってください」とイエスに願う。今のうちにイエスの口から息子たちを将来重用すると言質をとっておきたかったのか。彼女も親として必死だったのだろう。しかし、その願いは独りよがりなものと言わざるを得ない。イエスも「あなた方は、自分が何を願っているか分かっていない」とぼっさり。

先日、話題の映画「劇場版 鬼滅の刃」に息子と行ってきた。主人公は、6人兄弟の長男。ある日長女である妹以外の家族を鬼に惨殺される。そして、生き残ったものの鬼となってしまった妹を人間に戻し、家族を奪った鬼を滅ぼすために「鬼殺隊」という組織に入る。ある日突然家族を失うという、もう立ち上がれないほどの深い傷を負いながらも、残った妹のためにも自分は生きていかねばならない。家族と一緒に死ねたらどんなによかったか。それは例えば震災によって、一日にして家族をすべて失った人々の筆舌に尽くしがたい苦しみとも重なるだろうか。そして主人公は、映画の中で、夢を見せる鬼に悪夢を見せられる。鬼に殺された家族から「なぜ助けてくれなかった」「なぜお前一人生き残った」と責められるのだ。それは、震災で生き残ってしまった人々が幾度となく自問してきた問いでもあったろう。しかし、主人公は逆に奮い立つ。「俺の家族がそんなことを言うはずがないだろう！俺の家族を侮辱するな！」キリストも、信頼し愛する弟子たちに結果的に裏切られ見捨てられても、決して彼らを恨んだり、呪ったりすることはなかった。映画の中でも、死にゆく人が愛する人・信頼する人に残してゆく言葉は「弱い人を助けなさい」「胸を張って生きろ」という言葉だったのだ。

ゼベダイの母は、息子たちの地位の安定を願うのではなく、残されてゆく息子たちが、これからより良く生きてゆくことができるよう祈るべきであったろう。そしてそれは彼女の願いに腹を立てた他の弟子たちも同様だ。おそらく彼らの怒りも、自分も同じ願いを抱いていたが故のもの。だからこそイエスは言われた。「しかし、あなた方の間では、そうであってはならない」。偉くなるかどうかじゃなくて、どう生きていくかなのだ。私たちも謙虚にこのキリストの言葉を受け取っていききたい。私たちの望むべきものは、将来の安定ではなく、神の御心に示されるような命の使い方。私たちの命など、本当に儂い。だからこそ、いつか天国の門前で、神様や先に召された愛する人たちに「よくがんばったね」と言ってもらえて、自分でも胸を張れるような生き方・命の使い方をしていきたいのだ。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook

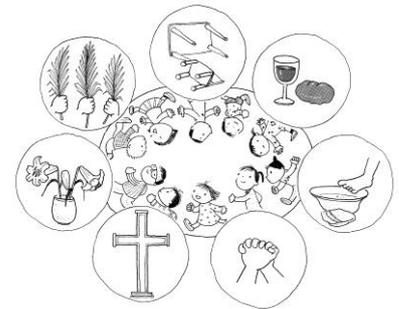


LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (3月21日)

礼拝出席 大人5名 献金 大人5,000円 感謝



◎ 次週 2021年4月4日(日) ^{イースター}復活日礼拝

招きの詞 詩編 30編 4, 6b節

聖書 ヨハネによる福音書 20章 1-18節

メッセージ「涙の後ろから呼ぶ声がある」牛田匡牧師

賛美歌 575番、290番、325番、331番、524番 (いずれも『讚美歌21』)

礼拝の中でユーカリスト(聖餐式)を行う予定です。また礼拝はインターネットで中継配信いたします。なお新型コロナウイルス感染症の感染流行に伴い、例年イースター礼拝後に行っておりました「愛餐会(昼食会)」は行いません。

礼拝後に4月期の「教会を考える会(役員会)」を行います。役員ではない方も陪席自由ですので、教会についてご一緒に考えてくださる方がいらっしゃいましたら、どうぞご出席ください。

◎ お知らせ

- ・本日、礼拝後に、釜ヶ崎支援のために「おにぎり作り」を行い、いこい食堂に届ける予定です。どなたでもご参加ください。
- ・教会では、新型コロナウイルス感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、それぞれの方の体調にご注意いただき、教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加ください。教会堂では、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードして頂くことができます。またご希望の方にはご自宅までお届けいたします。
- ・4月18日の礼拝後に、定期教会総会を開催する予定です。議案は【1:総会議長及び総会書記選出】【2:組織】【3:2020年度教勢報告】【4:2020年度教会活動報告】(含CS、婦人会、警報・非常時の対応、コロナ対応、慶弔費)【5:2020年度教会会計決算】【6:担任教師の2021年度の謝儀等】【7:2021年度教会活動計画】【8:2021年度教会会計予算】【9:2021年度CS会計予算】【10:役員体制(人数)変更】【11:教会規則の改定】(役員人数規定改定)【12:役員選挙】【13:教区総会出席議員の選出】【14:その他】を予定していますが、その他加えるべき議案や質問がございましたら、次週開催予定の「教会を考える会」までに、お知らせください。

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
4/4	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	イースター礼拝・ユーカリスト (愛餐会なし)・教会を考える会
4/11		牛田牧師	聖書を読む会?・おにぎり支援?
4/18		牛田牧師	定期教会総会
4/25		岡嶋伝道師 (向島伝道所)	(第二好意庭感謝祝福式・牛田牧師) 誕生者祝福式・おにぎり支援?

